

# 数学

## 京都大学[文系] (前期)

### <全体分析>

試験時間 120分 解答問題数 5題

解答形式  
記述式

#### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)  
難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

#### 出題の特徴

**2**、**4**で、方針を誘導するための(1)があった(昨年は、1題であった)。**3**、**4**は理系と共通。

#### その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

思考力、論証力を問う問題が、例年のように出題されている。

### <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	積分法	数学Ⅱ	絶対値記号を含む関数、面積	標準
2	微分法	数学Ⅱ	三角比の公式から3次関数を導く	標準
3	整数	数学A	3で割ったときの余りで分類する	標準
4	空間図形	数学A	四面体を切ってできる立体の体積の性質	難
5	確率	数学A	袋の中の状況が毎回変わる試行	やや難

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

論理的な思考力と論証力を養うこと。誘導の小問がない形で出題されることが多いので、有効な方針を立てる力を意識して身につけたい。